

1 受動態

In dieser Fabrik **werden** Motoren **hergestellt**. (この工場ではエンジンが作られる)
 上の文は受動態の文です。受動態とは「.....れる、.....られる」に相当する表現です。
 この「エンジンが作られる」ということを言っているわけですが、この場合<誰が作るのか>よりも<何が作られるのか>が重要であるために、受動態で表現されています。
 このように、受動態は、「彼が.....する」という場合の<彼>、つまり<行為を行う者>のことを考えずに、**動作や事象に焦点**をあてて「.....が行われる、行われている」ということを述べる言い方です。

2 受動態の形

受動態は「werden の人称変化 + 過去分詞 (文末)」で表されます。

時制		werden		過去分詞
現在	In dieser Fabrik	werden	Motoren	hergestellt
現在完了	In dieser Fabrik	sind	Motoren	hergestellt worden
過去	In dieser Fabrik	wurden	Motoren	hergestellt

* 現在完了形では完了の助動詞として **sein** が使われ、受動態の完了形であるために、**過去分詞 + worden** (受動文を作る助動詞 werden の過去分詞) で表されます。

3 受動態の人称変化

現在形

	werden の人称変化	過去分詞
Ich	werde	fotografiert
Du	wirst	fotografiert
Er	wird	fotografiert
Wir	werden	fotografiert
Ihr	werdet	fotografiert
Sie	werden	fotografiert

現在完了形

	sein の人称変化	過去分詞 + worden
Ich	bin	fotografiert worden
Du	bist	fotografiert worden
Er	ist	fotografiert worden
Wir	sind	fotografiert worden
Ihr	seid	fotografiert worden
Sie	sind	fotografiert worden

過去形

	wurde の人称変化	過去分詞
Ich	wurde	fotografiert
Du	wurdest	fotografiert
Er	wurde	fotografiert
Wir	wurden	fotografiert
Ihr	wurdet	fotografiert
Sie	wurden	fotografiert

4 受動態の作り方

(a) 4格目的語がある場合

能動文と受動文との対応

能動文		受動文
4格目的語	->	主語
主語	->	von + 3格 / durch + 4格
動詞	->	werden 過去分詞
他の文成分	->	そのまま

Der Lehrer lobt **den Schüler**. (教師は生徒をほめる) --> **Der Schüler** wird von dem Lehrer gelobt. (生徒は教師にほめられる)

* 受動文の主語になれるのは能動文の4格目的語のみです。3格目的語はそのまま3格目的語として残ります。

Der Lehrer gibt **dem Schüler** das Buch. (教師は生徒に本を与える)

--> Das Buch wird **dem Schüler** von dem Lehrer gegeben. (その本は教師によって生徒に与えられる)

* 能動文の主語が **man** の場合、受動文でこれに対応する語は現れません。

In Deutschland spricht **man** Deutsch. (ドイツでは人はドイツ語を話す)

--> In Deutschland wird Deutsch gesprochen. (ドイツではドイツ語が話される)

* 動作主ではなく、手段・媒介を表す場合には **durch** が使われます。

Das Erdbeben zerstörte diese Stadt. (その地震がこの都市を破壊した)

--> Durch das Erdbeben wurde diese Stadt zerstört. (その地震によってこの都市は破壊された)

(b) 4格目的語がない場合

* 3格目的語は主語になれません。文頭が空位になります。そこで「空位を埋める es」とよばれるものを文頭におきます。

他の文成分が文頭におかれ、空位が埋められる場合には、この「es」は当然省略されます。

助動詞の人称変化は3人称単数形になります。

Er hilft ihr. (彼は彼女の手伝いをする) --> **Es** wird ihr (von ihm) geholfen.
(彼女は(彼に)手助けをしてもらう)

--> Ihr wird (von ihm)

geholfen. (彼女は(彼に)手助けをしてもらう)

* 目的語がない文も受動態にできます。

文頭が空位になりますので、「空位を埋める es」とよばれるものを文頭におきます。

他の文成分が文頭におかれ、空位が埋められる場合には、この「es」は当然省略されます。

助動詞の人称変化は3人称単数形になります。

Man schläft sonntags lange. (日曜はゆっくり寝ます)

--> Es wird sonntags lange geschlafen.

(日曜はゆっくり寝ます)

--> Sonntags wird lange geschlafen. (日曜はゆっくり寝ます)

(a) 話法の助動詞を含む受動態

Man **muss** den Kranken sofort operieren.

→ Der Kranke **muss** sofort operiert **werden**. (患者はすぐに手術されなければならない)

1) 能動文の4格目的語が主語になりますので、この場合 **der Kranke** が主語になります。

話法の助動詞は定動詞としてそのまま残されます。

Der Kranke **muss**

2) 能動文で不定詞として使われた動詞は受動文では過去分詞となります。

話法の助動詞が入っていますので、受動文を作る助動詞 **werden** は不定形となり、文末へおかれます。

Der Kranke muss sofort **operiert werden**.

(b) 状態受動

受動文を作る **werden** のかわりに **sein** を用いると「.....**されてある**」という状態を表す受動文ができます。

次の二つの文をみてください。

(1) Das Zimmer **wird** reserviert.

(2) Das Zimmer **ist** reserviert.

(1)の文は「部屋が予約される」という動作を表しています。

これに対して(2)の文は「部屋は予約されてある」という状態を表しているわけです。

このように、「**sein** の人称変化 + 過去分詞 (文末)」は状態の受動文を作ります。